

企業景況調査報告書

(平成31年1~3月期)

< 目次 >

質問1	調査の概要・結果概要	1
質問2	直面している経営上の問題点	2
質問3	外国人労働者の雇用状況について	3
質問4	意見等自由記載欄	4
DI	集計結果・分布	5
調査票	様式	6,7

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成31年1～3月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社)
調査方法	各事業所を職員が訪問し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成31年4月上旬
回収状況	97社(回収率97%) ※前回(10～12月)92社 (建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業20社、サービス業20社、その他6社)

<今期の状況> (5 ページ表参照)

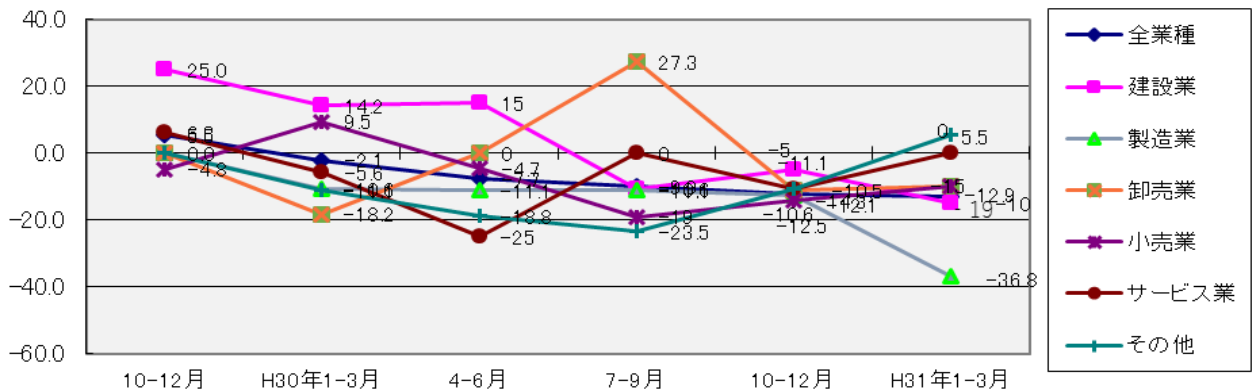
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲12.1から下降し、▲12.9となった。業種別に見ると、建設業・製造業で下降しており、それぞれ建設業は▲15.0(前期▲5.0) 製造業は▲36.8(前期▲12.5)と下降している。一方、卸売業・小売業・サービス業・その他の業種では上昇しており、それぞれ卸売業は▲10.0(前期▲11.1)、小売業は▲10.0(前期▲14.3)、サービス業は0.0(前期▲10.6) その他の業種は5.5(前期▲10.5)という状況である。

<来期の見通し> (5 ページ表参照)

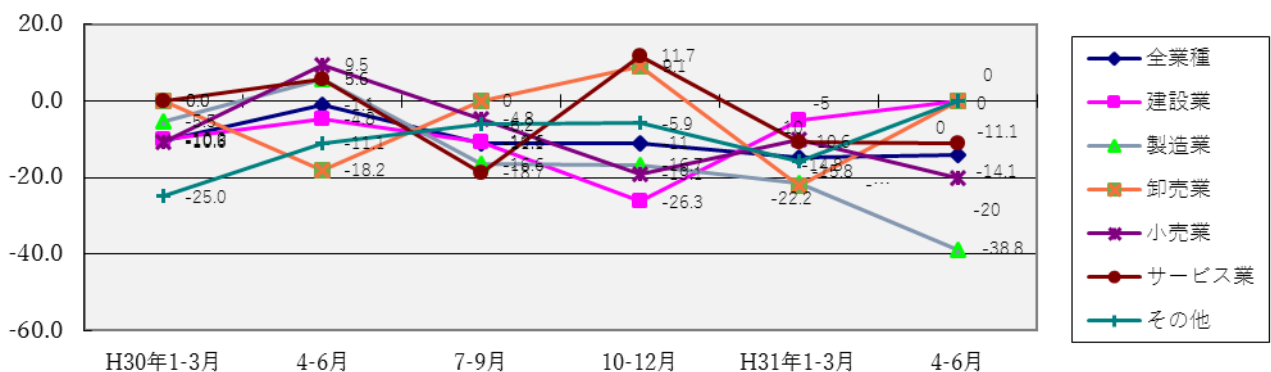
来期の見通し(2019年1～3月)では、全業種のDI値は前期の▲14.8から上昇し、▲14.1となった。業種別に見ると建設業では0.0(前期▲5.0)、卸売業は0.0(前期▲22.2)、その他の業種は0.0(前期▲15.8)と3業種で上昇する見通しとなった。一方、製造業は▲38.8(前期▲21.4)、小売業は▲20.0(前期▲10.0)、サービス業は▲11.1(前期▲10.6)と3業種で下降する見通しとなった。全体としては前期、来期ともに大きな変化はないが、業種別にみると製造業の下降傾向が強い結果となった。製造業に限らず全業種における課題としては、売上・受注の減少や人手不足が多く挙げられるなど、企業にとっては厳しい状況が続くことが予想される。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP6をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※ () 内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少 (39)	人手不足 (33)	競争激化 (29) 原材料・仕入価格上昇 (29)
	前期	売上・受注減少 (41)	人手不足 (33)	競争激化 (30)
建設業	当期	売上・受注減少 (10) 人手不足 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)	経費の増加 (7)
	前期	人手不足 (12)	売上・受注減少 (10)	競争激化 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5) 利益率低下 (5) 新分野進出 (5)
製造業	当期	売上・受注減少 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)	人手不足 (6) 利益率低下 (6)
	前期	経費の増加 (9)	売上・受注減少 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7)	競争激化 (4) 消費・需要の停滞 (4) 人手不足 (4)
卸売業	当期	競争激化 (6)	消費・需要の停滞 (4) 売上・受注減少 (4) 経費の増加 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3) 利益率低下 (3)
	前期	売上・受注減少 (5)	競争激化 (4) 消費・需要の停滞 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)
小売業	当期	売上・受注減少 (9)	競争激化 (8) 消費・需要の停滞 (8)	資金繰り難 (5)
	前期	競争激化 (11)	売上・受注減少 (10)	消費・需要の停滞 (7)
サービス業	当期	人手不足 (10)	競争激化 (7)	経費の増加 (6)
	前期	人手不足 (11)	競争激化 (6) 売上・受注減少 (6)	経費の増加 (5)
その他	当期	利益率低下 (5)	売上・受注減少 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)	消費・需要の停滞 (1) 売上・受注単価低下 (1) 人手不足 (1) 新分野進出 (1)
	前期	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3) 経費の増加 (3)	人手不足 (2) 利益率低下 (2)	原材料・仕入価格上昇 (1) 代金回収難 (1) その他 (1)

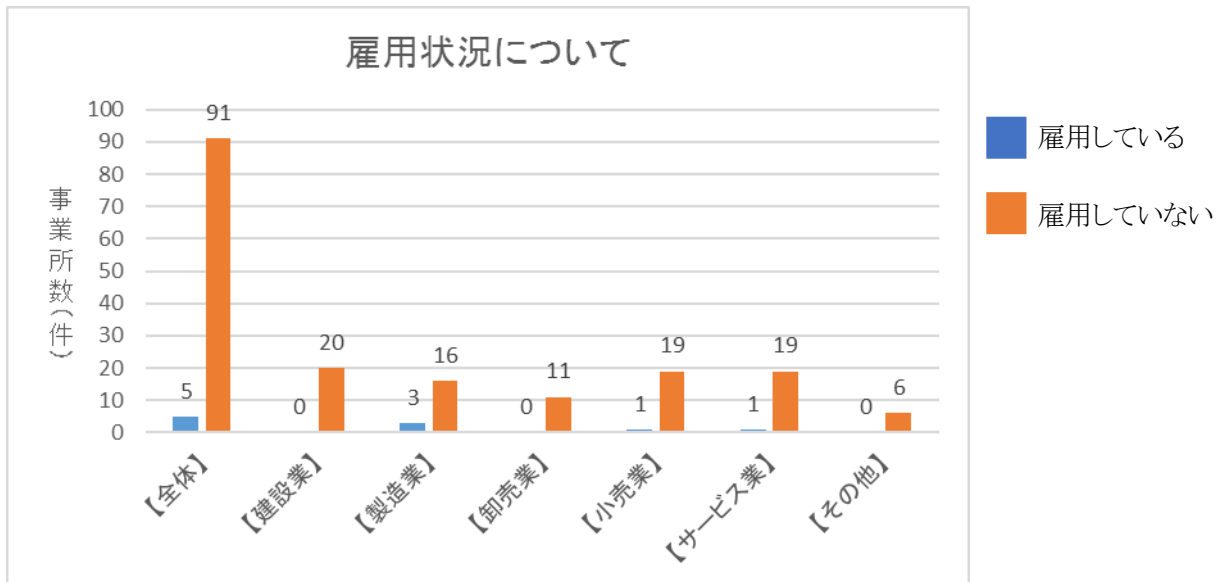
17 その他

- ・運賃等の負担増による影響
- ・事業承継
- ・働き方改革
- ・熟練者の不足

質問3 外国人労働者の雇用状況について

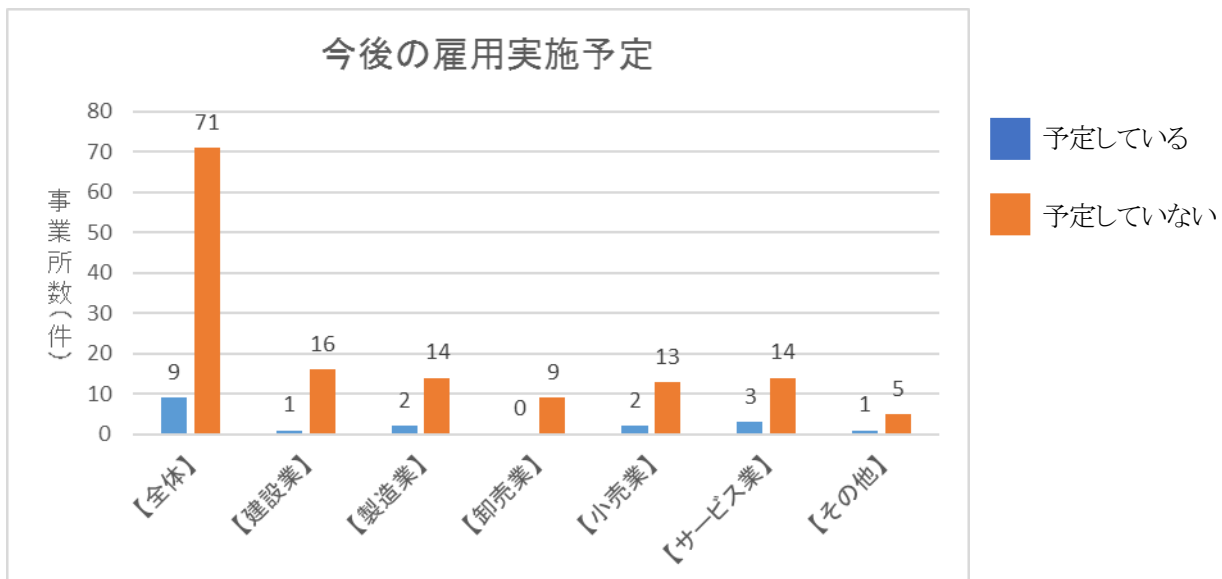
・雇用状況について

近年、鳥取県での外国人労働者の受け入れが進んでいるということで、雇用状況についての調査を行った。その結果、91件の事業所が「雇用していない」と回答し、「雇用している」と回答したのはわずか5件となった。事業所別にみると、製造業で3件、小売業とサービス業で1件であり、建設業・卸売業・その他の業種では0件であった。鳥取県内では外国人労働者の雇用が進んでいるようだが、中部においてはほとんどの事業所が雇用を実施していないのが現状である。また、「雇用している」と回答した事業所に外国人労働者の国籍、在留資格について質問した。国籍については、中国・韓国・フィリピン・ベトナムと様々で、在留資格についても専門的・技術的分野のものや技能実習等様々であった。



・今後の雇用予定について

今後の外国人労働者の雇用実施予定についても調査を行った。その結果、「予定している」という回答は9件、「予定していない」という回答は71件であった。「予定している」と回答した事業所のうち、既実施している事業所は4件あり、外国人労働者に対して「真面目で勤労意欲も高い」、「人手不足を解消する重要な人材となっている」というような意見があった。一方、「予定していない」と回答した事業所からは、「受け入れる体制が出来ていない・準備に手が回せない」、「業務の内容等、外国人の方には難しいと思う」、「コミュニケーションに不安がある」等の意見が挙げられた。



質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・消費税導入後の対策。公共工事を発注してほしい。
- ・消費税、元号改定、高齢化、地方の人口減少等社会的要件で不況感が強い。
- ・金利の安い借入れに変更したい。提案をしてほしい。
- ・今年は公共工事も少なく、厳しい状況が続いている。また、人手不足により、予定していた民間大型の物件も受注できない状況になっている。2020年のオリンピックの需要工事も終了し、消費税の引き上げもあり、今後ますます不況状況が進んでいくと考えられる。若者担い手問題は官民一体となった取り組みが必要と考える。
- ・人材、人手の確保が最重要な課題である。

【製造業】

- ・人件費の高騰により賃金を上げていっていますが、取引先の単価は変わらず苦戦している。
- ・本年4月に改正される入管法改正による外国人労働者の受け入れ方法等について、スピーディーなサポートをお願いしたい。
- ・5月のGWがどのような影響が出るか不明。また、働き方改革の結果、運送業に例年に見られない状況が見られ対応に苦慮している。運賃の負担増による値上げ要請も昨年に続きある。
- ・景気が良くなり売上減少が続き良い報告が出来ません。地産地消での地元産の製品愛用への手助けを願っています。

【卸売業】

- ・働き方改革は大企業と公務員の為の様で、小企業には無理。差をつけて頂きたい。
- ・コンビニ店やドラッグストアの進出で売上が低下している。

【小売業】

- ・需要の減少。
- ・消費税の軽減税率をわかりやすいかたちで教えてほしい。
- ・景気の向上を期待しています。

【サービス業】

- ・人口減少による需要の低迷、今後もこの状況が続くことが予想される。かと言って人が増えれば良いという問題でもない。治安の確保も大切。
- ・人手不足により、長時間労働や休日出勤等があり従業員に負担をかけている。働き方改革は、中小企業、特にサービス業には向かない。
- ・中部地震による被害箇所が多くあり、修復・修繕が厳しい。老朽化による修理コストが負担となっている。
- ・当社は公共事業関連の業界の会社であるので、世間の景気とは直接関係があるようには思えないが、過去の例では消費税が上がると景気が悪化して税収が下がっている。私は税収が上がって発注が増えるなら増税は大賛成ですが、減るのは過去の例から明らかです。税収が下がると県市町等の建設関連の予算が減り、売上が下がる。だから消費税の増税は止めてほしい。また、現在国には財政赤字はないはずである。
- ・現時点では、消費税増税に伴う経済対策により一時的に仕事はあるが、その後の見通しが立たない。
- ・夏は高温が持続し、又冬は降雪が無く、野菜果物に悪影響を与えた。
- ・地震から落ちてしまった消費が少し戻ってきたようにも思いますが、手軽なコンビニエンスストアに飲食人口は流れてしまっているようです。

【その他】

- ・購入方法の変化並びに退店等に伴う売上減少。

D I 集 計(前年同期比=2019年1~3月期、来期の見通し=2019年4~6月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.3	-16.7	3.1	3.1	-20.6	-18.8
製造業	-21.0	-27.8	10.5	11.1	-42.1	-47.3
非製造業	-10.2	-14.1	1.3	1.3	-15.4	-11.7

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.1	-9.3	9.4	4.2	-3.3	3.3
製造業	0.0	0.0	10.5	10.5	16.7	5.6
非製造業	-3.8	-11.7	9.1	2.6	-8.0	2.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.9	-14.1
製造業	-36.8	-38.8
非製造業	-6.7	-8.1

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.3	-16.7	3.1	3.1	-20.6	-18.8
建設業	-19.0	-14.3	9.5	19.0	-14.3	-9.5
製造業	-21.0	-27.8	10.5	11.1	-42.1	-47.3
卸売業	-54.5	-18.2	36.4	36.4	-36.4	-10.0
小売業	-5.0	-25.0	-25.0	-30.0	-10.0	-20.0
サービス業	15.0	-10.0	5.0	0.0	0.0	-5.0
その他	0.0	16.7	-16.7	-16.7	-50.0	-16.6
非製造業	-10.2	-14.1	1.3	1.3	-15.4	-11.7

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-3.1	-9.3	9.4	4.2	-3.3	3.3
建設業	-4.8	-9.5	14.2	14.2	5.3	5.3
製造業	0.0	0.0	10.5	10.5	16.7	5.6
卸売業	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0
小売業	-10.0	-25.0	-5.0	-10.0	-10.5	-5.6
サービス業	5.0	-5.0	10.0	5.0	-20.0	5.0
その他	-16.6	-16.6	16.7	-16.6	-5.0	5.0
非製造業	-3.8	-11.7	9.1	2.6	-8.0	2.8

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.9	-14.1
建設業	-15.0	0.0
製造業	-36.8	-38.8
卸売業	-10.0	0.0
小売業	-10.0	-20.0
サービス業	0.0	-11.1
その他	5.5	0.0
非製造業	-6.7	-8.1

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成31年1~3月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2019年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(2019年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他: 具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】近年、鳥取県での外国人労働者の受け入れが進んでいます。鳥取労働局によると、昨年10月時点における県内の外国人労働者数は2,324人となっており、年々増加傾向にあるとのこと。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. 貴社における外国人労働者の雇用状況について(括弧に○を付けてください。)

- ① () 雇用している () 人 →2、3、4へ進んでください
② () 雇用していない →4へ進んでください

2. 雇用している外国人労働者の国籍について(括弧に○を付けてください。※複数回答可)

- ① () 中国(香港等を含む) / ② () 韓国 / ③ () フィリピン
④ () ベトナム / ⑤ () その他 ()

3. 雇用している外国人労働者の在留資格について(括弧に○を付けてください。※複数回答可)

- ① () 専門的・技術的分野の在留資格(「経営・管理」、「研究」、「技術」、「教育」、「企業内転勤」等)
② () 特定活動(ワーキングホリデー等)
③ () 技能実習(外国人労働者を一定期間受け入れ、開発途上国等に技術を移転する制度)
④ () 資格外活動(「留学」、「家族滞在」等の在留資格を持つ者のうち資格外活動許可を受けている者)
⑤ () 身分に基づく在留資格(「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」の在留資格を持つ者)

4. 貴社における今後の外国人労働者の雇用予定について（括弧に○を付けてください。また、その理由もご記入ください。）

① () 既に実施しており、今後も継続的に行う or 現在は実施していないが、今後雇用を検討している

(雇用予定人数： 人)

(理由：)

② () 既に実施しているが、今後は行わない or 現在は実施しておらず、今後も雇用は考えていない

(理由：)

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。